D

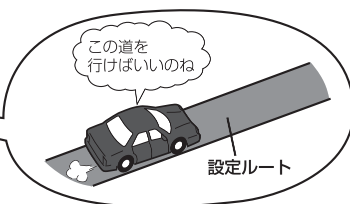
ルート探索をする

D-2 ルート設定について

ルート設定をすると、本機は、設定した条件と地図ソフトのデータをもとに、出発地から目的地までのルートを探索し、地図上に表示します。（この画面をルート案内画面と呼びます。）このルート上を走ることによって、目的地に到着します。

ルート案内画面

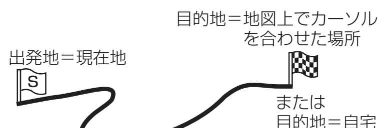




ルート設定は、主に下記の方法で行ないます。また、探索条件設定をすることができます。

クイックルート(Quick機能)探索 B-28

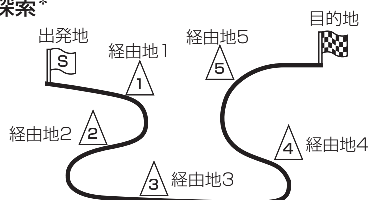
- カーソル(-¦-)を目的地に合わせ **設定** をタッチし、設定メニューを表示させ **目的地に設定する** をタッチすると、現在地から目的地までのルートが表示されます。
  「現在地から目的地までのルートを探索する」B-28
- 現在地表示時に、 **Quick** をタッチし、Quick MENUを表示させ **自宅** をタッチすると、現在地から自宅までのルートが表示されます。
  「現在地から自宅までのルートを探索する」B-29



ルート から1ルート探索・複数ルート探索・最速ルート探索＊
D-4

- **ルート編集** から好きな場所を出発地にできます。
- 複数探索を選ぶと、5通りのルートを同時に探索します。表示されたルートを見て、好きなルートを選んでください。
- 途中に寄りたい場所や通りたい道などを経由地として設定できます。（5か所まで）

※経由地を設定すると複数探索はできません。



＊印…カーウイングスをご利用されている場合、 **最速ルート** （最新の交通情報を取得／考慮したルートを探索）を選択することができます。（別途サービスのお申し込みが必要になります。）

目的地 から探索方法を選択してルート探索 C-1

住所／電話番号／名称50音／ジャンル／郵便番号など、お好きな方法で目的地を設定し、現在地から目的地までのルートを探索します。

ナビ設定 から探索条件を設定 D-33

探索条件や有料道路料金表示の車種を設定することができます。

アドバイス

ルートは必ずしも、最短ルートが選ばれるわけではありません。



注意

交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

ルート探索について

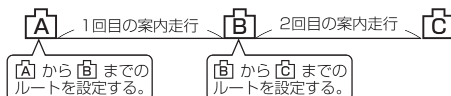
画面の流れ （例） ルート から探索した場合



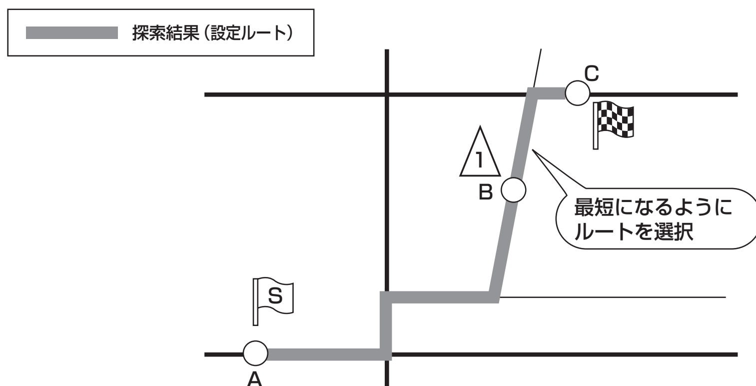
- 出発地と目的地との距離が長いほど、また、１ルート探索より複数ルート探索の方が、ルート探索に時間がかかります。
- 出発地と目的地との距離が長すぎて、ルート探索ができない場合は、“ルート探索ができません”などと表示し、探索を中止します。この場合は、設定内容（出発地／経由地／目的地）を変更して、出発地と目的地との距離を短くしてください。

例えば、A地点からC地点に行く場合、

①A地点からB地点までのルートを設定して、B地点まで行く。
②B地点からC地点までのルートを設定して、C地点まで行く。
というのも、１つの方法です。



- ルート探索は地図ソフトに収められている探索データをもとに行ないます。（地図上の全ての道路（場所）にこのデータがあるわけではありません。）
出発地（S）／経由地（1）／目的地（旗）を結ぶ道路が最短になるようにルートを選択します。
ただし規制等があって道路が通れない場合、出発地（S）／経由地（1）／目的地（旗）を設定した道路を通るルートになるとは限りません。



※有料道路（高速道路、都市高速道路を含む。）と一般道路が接近している地点に設定した場合は、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。

ルート

- 地図ソフトの更新によって収められている探索データが異なり、出発地／経由地／目的地や探索条件が同じであっても、ルートが異なる場合があります。
- ルート探索中に車のキースイッチを「OFF」に入れると、ルート探索を中断します。この後に車のキースイッチを「ACC」または「ON」にすると前回探索途中のルートは中止（削除）されています。

細街路探索について

細街路の時間規制は一部の地域のみ収録されております。
※市街地図の収録エリアおよび細街路探索エリアにつきましては、☞ I-22をご覧ください。

ルート設定の流れ

通常（簡易設定）

目的地を設定する



探索実行

探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探索します。



ルート案内開始

※ルート案内を止める場合は☞「ルート案内をストップ／スタートする」D-25にしたがって操作してください。

詳細設定

目的地を設定する



出発地を設定する

現在地以外の場所を出発地にする場合は、設定が必要です。

経由地を設定する

途中に寄りたい場所や通りたい場所（道）がある場合に設定します。（5か所まで）



探索条件を選択する

- 自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 のどれか１つを選択。
- 軽自動車 ／ 普通車 ／ 中型車 ／ 大型車 ／ 特大車 のどれか１つを選択。
- 自動再探索／フェリーを優先／季節規制考慮／時間規制道路を考慮／スマートICを利用／ルート学習結果を利用／VICS自動再探索／リアルタイム交通／VICS情報を考慮／統計交通情報を考慮する場合は する を選択する。
- 探索開始 (ルートを１つ探索する)か 複数探索 (参考ルートを５つ探索して、好きなルートを選ぶ)のどちらかを選択。
  ※経由地が設定されている場合は 複数探索 は選択できません。
  ※カーウイングスをご利用されている場合、最速ルート (最新の交通情報を取得して、最短のルートを探索)を選択することもできます。

探索実行

設定した内容(目的地・出発地・経由地)、探索条件、地図ソフトのデータをもとに、本機がルートを探索します。

ルート案内開始

※ルート案内を止める場合は 「ルート案内をストップ／スタートする」D-25にしたがって操作してください。

アドバイス

- 現在地を出発地にする場合は、ルート設定をする前に、実際の現在地を表示していることを確認してください。
- 有料道路(高速道路、都市高速道路を含む)と一般道路が接近している地点に、出発地／経由地／目的地を設定すると、有料道路上に設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。
- 有料道路上に設定する場合は 有料道路 を、一般道路上に設定する場合は 一般道路 を選択し、タッチしてください。
- ジャンルから高速ICの出入口を選択した場合は出入口が反映された地点が表示されます。その地点を登録し、登録地点から表示させルート探索をすると出入口情報は反映されません。画面にメッセージが表示されるので 有料道路 ／ 一般道路 を選択してください。
- ルートは、必ずしも最短ルートが選ばれるわけではありません。

スマートICとは

SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジで、ETCを搭載していない車両は通行できません。通行可能車両、通行可能時間等が制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

ルート学習結果について

ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。



交通規制の変更などにより、実際には探索したルートが通れない場合があります。
この場合は、実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 ルート探索をする

1 メニュー を押す。

2 目的地 または ルート を選択する。

■ 目的地画面から選択する場合

① 目的地 をタッチし、検索方法を選択してタッチする。



■ ルートから選択する場合

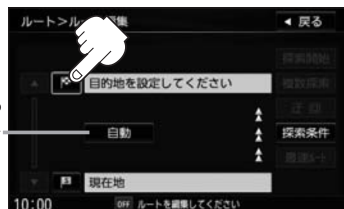
① ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

② 🏁 をタッチする。



探索条件を変更する場合はここをタッチ
☞ D-19



この後は、選んだ方法で設定する場所周辺の地図画面を表示させます。

- 目的地付近 ：目的地の地図を表示
- 出発地付近 ：出発地の地図を表示
- 経由地付近 ：経由地の地図を表示
- 現在地付近 ：現在地の地図を表示
- 自宅 ☞ C–2
- 電話番号 ☞ C–3
- 住所 ☞ C–5
- 登録地 ☞ C–8
- 名称50音 ☞ C–10
- Yahoo! サービス ☞ C–14
- 目的地履歴 ☞ C–17
- 周辺施設 ☞ C–19
- SD登録地 ☞ C–22
- マップコード ☞ C–24
- ジャンル ☞ C–25
- 地図 ☞ C–33
- 郵便番号 ☞ C–34
- 緯度経度 ☞ C–35

3 目的地を設定する。

■ 表示された目的地で良い場合

① 設定 をタッチし、設定メニューを表示させ 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された目的地で良い場合

① 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、目的地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。



② カーソルを目的地に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



微調整 ボタン B-14

④ 目的地に設定する をタッチする。



：● 目的地 から探索した場合、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。

● ルート から探索した場合、目的地を設定すると、ルート編集画面に戻ります。探索開始 をタッチすると、現在設定されている探索条件でルート探索が開始されます。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。

ルート

4 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

ルート全表示画面



ルート案内画面



アドバイス

- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。「平均速度を設定する」F-34
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 探索条件を変更する場合は、「ルート探索条件の設定をする」D-33をご覧ください。
- F-9の案内設定で"ルートの全表示"を する に設定している場合、上記手順 4 で 別ルート が表示されます。
  別ルート をタッチすると、複数ルート探索を開始します。
  「複数ルートを探索する」D-9
- 上記手順 4 で 詳細情報 をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
  「現在のルートを全表示する」D-20

複数ルートを探索する

ルート設定した後、表示されたルートの中から(“自動” “有料優先” “一般優先” “距離優先” “道幅優先”)お好みのルート案内を開始することができます。

※複数ルート探索はトップメニューの ルート ボタンより操作します。

1 **メニュー を押す。**

2 **ルート ➡ ルート編集 をタッチする。**

：ルート編集画面が表示されます。

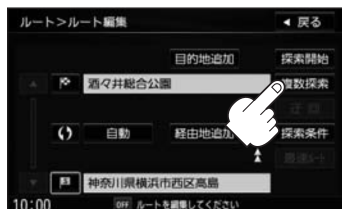


3 **複数探索 をタッチする。**

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

 アドバイス

複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。経由地を設定した場合、“複数探索” はできません。



4 **探索条件(自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先)をタッチしてルートを確認する。**

：有料道路は青、一般道路は黄色／ピンクで表示されます。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「−−−円」と表示されます。)



このボタンをタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。

「現在のルートを全表示する」D-20

5 **案内スタート をタッチする。**

：ルート案内を開始します。

 アドバイス

- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。「地図スクロール(地図を動かす)」B-12
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。「平均速度を設定する」F-34
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 出発地(現在地)または目的地の変更や出発地と目的地の入れ替えなどは手順 3 で “複数探索” をタッチする前に設定できます。「ルートを変更する」D-12
- 探索条件については「(探索条件の変更)」D-19／「ルート探索条件の設定をする」D-33をご覧ください。
- 自動 を選択した場合、推奨のルートを探索した結果が表示されます。

ルート

最速ルート探索をする

過去の渋滞統計データと最新のVICS情報を利用し、早く到着できるルートを予測してルート探索をします。最速ルート探索を行なうには、別途カーウイングスのサービスのお申し込みが必要になります。なお、過去の統計交通データについては、探索条件で統計交通情報を考慮する設定にしている場合に有効になります。

「カーウイングスについて」G-2

1 メニュー を押す。

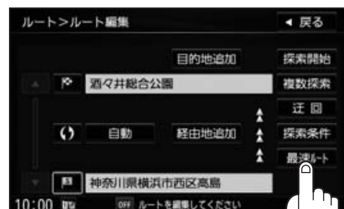
2 ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



3 最速ルート をタッチする。

：最新の渋滞情報をダウンロードします。
ダウンロードが完了すると、最新の交通情報を考慮したルートで案内を開始します。






渋滞情報取得中に
点滅表示されます。

アドバイス

- 最速ルートは、ルート探索時点で所要時間が最短と予測されるルートを選択するものであり、必ずしも渋滞を回避するものではありません。またVICS情報とその他の交通情報を用いた探索結果であり、必ずしも実際の最速ルートとならない場合があります。
- 統計交通情報は、過去のVICS情報を元にしているため、突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化は考慮されない場合があります。
- “渋滞”の道路を案内したり、“渋滞なし”の道路を迂回する場合があります。
  「交通情報(VICS情報)について」E-7
- 自動的にカーウイングスに接続し、最新の交通情報を取得することもできます。また、自動的にカーウイングスに接続する時間を設定することもできます。
  「自動最速ルート探索の設定をする」G-38
  「渋滞情報取得時間を設定する」G-33
- 携帯電話を接続していない場合は、最速ルート を選択できません。
  「携帯電話を登録する」別冊の日産オリジナルマルチシステム(詳細版)M-2

ルートを変更する

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。
出発地の変更、目的地の変更、経由地の追加／変更／削除、経由地／目的地の入れ替え、探索条件の変更ができます。変更前のルートは自動的に削除されます。変更前のルートが必要な場合には、保存しておいてください。☞ D–27

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。

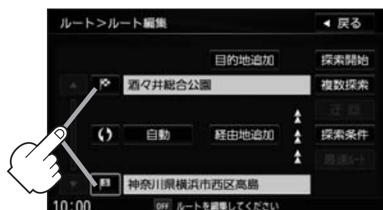


出発地／目的地の変更

出発地や目的地を変更することができます。

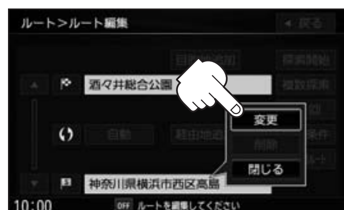
3 [S] または [🏁] をタッチする。

：吹き出しが表示されます。



4 変更 をタッチする。

：出発地または目的地設定画面が表示されます。



5 表示されたメニューの中から、出発地または目的地を探す方法を選択してタッチする。
☞ D–6

：周辺の地図を表示します。



6 出発地または目的地を設定する。

■ 表示された出発地または目的地で良い場合

① 設定 をタッチし、設定メニューを表示させ 出発地に設定する ／ 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された出発地または目的地で良い場合

① 出発地に設定する ／ 目的地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、出発地または目的地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。



設定メニューの 周辺の施設検索 をタッチして出発地を探すこともできます。（☞ C-20手順 5 から）

② カーソルを目的地に合わせる。

③ 設定 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。

最も詳細な地図を選んでおくと、位置の誤差が少なくなります。



微調整 ボタン ☞ B-14

④ 出発地に設定する ／ 目的地に設定する をタッチする。

：ルート編集画面に戻ります。



7 ルート探索を開始する場合は、
探索開始 ／ 複数探索 ／ 最速ルート を選択しタッチする。

■ 探索開始 を選択した場合

：ルート探索が完了し、 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

■ 複数探索 を選択した場合

：ルート探索が完了すると、5つのルートの選択画面になります。好きなルートを選択し、案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

■ 最速ルート を選択した場合（カーウイングス）

：ルート探索を行ない、ルート案内を開始すると、最新の渋滞情報をダウンロードし、より早いルートをご案内します。

※最新の渋滞情報をダウンロードしても、より早いルートが見つからない場合もあります。

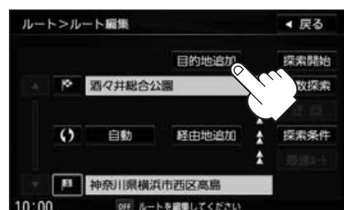
アドバイス

- 複数ルート探索は1ルート探索に比べ、探索時間が長くなります。
- 経由地を設定したときは、 複数探索 は選択できません。
- 到着予想時刻は平均速度の設定によって異なります。「平均速度を設定する」F-34
- 有料道路を優先しない設定にしていても、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。
- 携帯電話を接続していない場合は、 最速ルート を選択できません。
別冊の日産オリジナルマルチシステム(詳細版)「携帯電話を登録する」M-2

目的地の追加

追加する地点を目的地にし、すでに設定されている目的地を経由地にすることができます。

1 D-12手順 1 、 2 にしたがって操作し、
目的地追加 をタッチする。

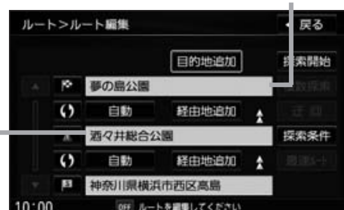


2 新しい目的地を設定する。

新しい目的地の設定のしかたはD-6手順 2 、 3 にしたがって操作する。

：目的地を追加し、ルート編集画面に戻ります。

追加した目的地



経由地

3 ルート探索を開始する。

※ルート探索を開始するには、D-14手順 7 にしたがって操作してください。

経由地の追加

経由地を追加することができます。追加方法は、ルート編集画面、目的地画面またはスクロール地図から設定できます。

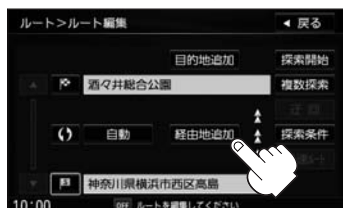
1 追加方法を選択する。

■ ルート編集画面から追加する場合

① D-12手順 1 、 2 にしたがって操作し、追加する場所の 経由地追加 をタッチする。

：経由地設定画面が表示されます。

出発地と目的地の間に追加する場合



② 表示されたメニューの中から、経由地を探す方法を選択し、タッチする。
D-6

：周辺の地図を表示します。



■ ルート案内中に目的地画面から追加する場合

① メニュー を押す。

：目的地設定画面が表示されます。

② 目的地 をタッチし、表示されたメニューの中から検索方法を選択し、タッチする。
D-6

※経由地の位置を調整する場合は、地図をスクロールさせて経由地の地図を表示させてください。
「地図スクロール(地図を動かす)」B-12



2 経由地を設定する。

■ 表示された経由地で良い場合

① 設定 をタッチし設定メニューを表示させ、 経由地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューと共に表示された経由地で良い場合

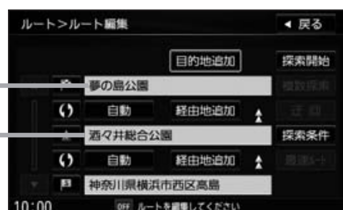
① 経由地に設定する をタッチする。

■ 設定メニューが表示されている場合に、経由地の位置調整をする場合

① 閉じる または地図画面をタッチして設定メニューを閉じる。
カーソルを経由地に合わせたら 設定 をタッチし設定メニューを表示させ、
経由地に設定する をタッチする。

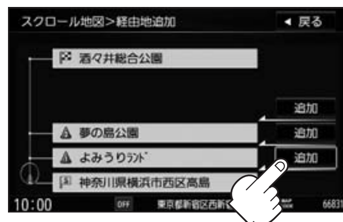
：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

※ルート編集画面が表示された場合はD-14手順 7 へ、経由地追加画面が表示された場合は下記手順 3 へ進んでください。



3 追加する場所の 追加 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート全表示画面が表示されます。



4 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

 アドバイス

- となりあう経由地間の距離が短すぎると、経路探索機能が正常に働かない場合があります。
- 経由地は５か所まで設定できます。また、すでに通過した区間には経由地を設定することはできません。

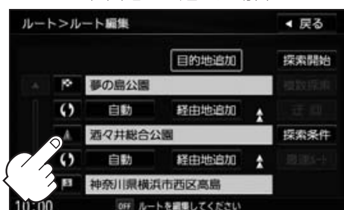
経由地の変更／削除

経由地を変更または削除することができます。

1 D-12手順 1 、 2 にしたがって操作し、変更／削除する経由地の ⚠ をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地１を選んだ場合

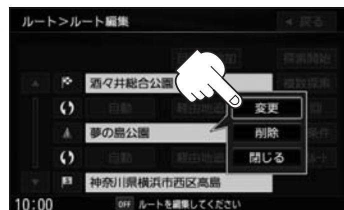


2 変更または削除する。

■ 変更する場合

① 変更 をタッチし、新しい経由地を設定する。

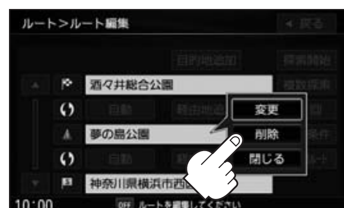
設定方法につきましては、☞「経由地の追加」D-15を参考にしてください。



■ 削除する場合

① 削除 をタッチする。

：地点を削除し、ルート編集画面に戻ります。



アドバイス

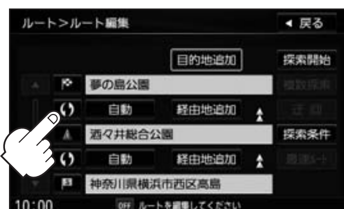
変更または削除の操作を中止する場合は、 閉じる をタッチしてください。

経由地／目的地など地点の入れ替え

地点の入れ替えをすることができます。

1 D-12手順 1 、 2 にしたがって操作し、入れ替えしたい場所の をタッチする。

経由地１と目的地を入れ替える場合



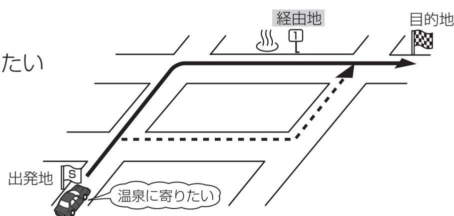
アドバイス

すでに通過した経由地の変更・入れ替えはできません。

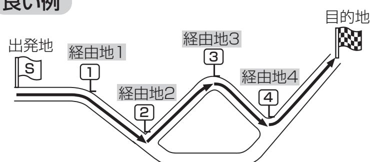
経由地を使って上手にルートを作る

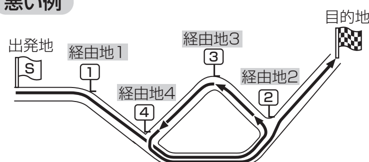
例)ルートの途中に立ち寄りたい場所があるとき

経由地を設定しない場合、立ち寄りたい場所を通らないルート(- - - - ▶)を作ることがあります。

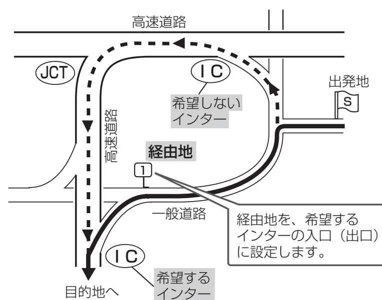


例)経由地は出発地(現在地)から近い順に、1、2、3…と、設定してください。





例)希望する高速道路インターから乗りたい(降りたい)場合



希望するICの入口(出口)に経由地を設定します。
経由地を設定しない場合は、希望しないインターを選ぶことがあり、遠回りのルート(- - - - ▶)を選ぶことがあります。

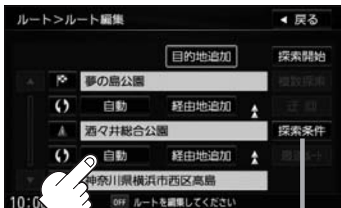
探索条件の変更

探索条件を変更することができます。

1 D-12手順 1 、 2 にしたがって操作し、変更する場所の 自動 をタッチする。

：吹き出しが表示されます。

経由地１までの探索条件を変更する場合

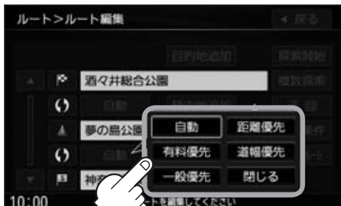


探索条件 をタッチして探索条件の変更をすることもできます。

「ルート探索条件の設定をする」D-33

2 探索条件(自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先)を選択し、タッチする。

※探索条件の変更を中止する場合は、 閉じる をタッチしてください。



設定できる探索条件

自動 ：推奨のルートを自動的に探索します。

有料優先 ：高速道路や有料道路を通るルートを優先的に探索します。

一般優先 ：国道や県道などを通るルートを優先的に探索します。

距離優先 ：走行距離がなるべく短くなるようなルートを優先的に探索します。

道幅優先 ：なるべく道幅が広いところを優先的に探索します。

アドバイス

- 距離優先 を表示させると、細い道路ばかり通ったり、有料道路の乗り降りを繰り返すルートになることがあります。
- 距離優先 で探索させた場合でも、出発地、目的地の近くでは、安全のため通りやすい基本道路を優先するので距離優先とならない場合があります。また、細街路は、通行の安全上、最短ルートとならない場合があります。

現在のルートを全表示する

設定したルート(出発地から目的地まで)を全画面に表示させて確認することができます。

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルートの全表示 をタッチする。

：ルート全表示画面が表示されます。



「入口」は最初に乗るICの名称、「出口」は目的地から一番近いICの名称を表示し(高速道路を走行しない場合は「−−−」と表示されます。)、現在地から目的地までのおおよその距離を表示します。(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「−−−円」と表示されます。)

出発地から目的地までのルート全体が見える縮尺で表示されます。



出発地　設定ルート

シミュレーション をタッチすると、シミュレーション走行をすることができます。
☞ D-24

戻る をタッチすると、1つ前の画面に戻ります。

目的地

詳細情報 をタッチすると、設定したルートの道路の種類や案内区間の距離を確認することができます。

案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。
☞ D-8

アドバイス

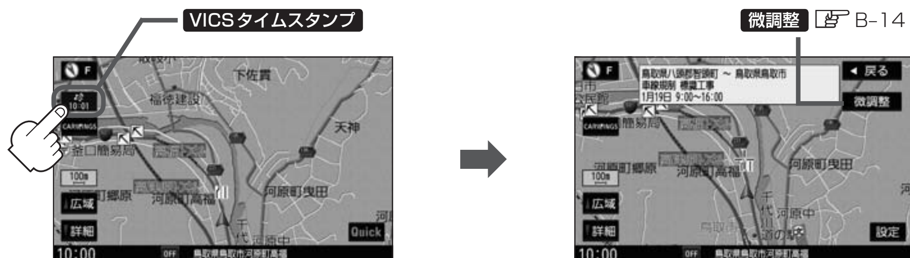
- 3Dビューのときでも、ルート全表示は平面地図画面で表示されます。
- ルートの一部が画面内に入りきらない場合があります。
- 地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
  ☞「地図スクロール(地図を動かす)」B-12
- 現在のルートに有料道路がある場合は、その目的地までの合計料金も表示されます。
- ルート詳細情報画面では各区間ごとの料金を表示します。(実際の料金と異なる場合があります。)
- シミュレーション走行(☞ D-24)、ルート情報(☞ F-12)、音声案内(☞ A-16)など、ルート案内走行を助ける様々な機能もあります。
- 設定ルートの色(黄色／ピンク)を選ぶことができます。
  ※どちらを選んだ場合も、有料道路は青色になります。
  ☞「■ ルート色の設定をする場合 」F-10

渋滞地点を確認する

設定したルート上に渋滞／規制がある場合、渋滞／規制地点を表示して確認することができます。

1 現在地表示画面で VICSタイムスタンプ をタッチする。

：音声案内とともに渋滞／規制地点が表示されます。



2 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- ルート上に渋滞／規制がない場合、 VICSタイムスタンプ をタッチしても地点は表示されません。音声案内のみとなります。
- 渋滞地点は現在地から前方10km以内の一番近い渋滞／規制地点が表示されます。
- Quick MENUに 渋滞地点 ボタンを設定すると、 Quick ➡ 渋滞地点 で、渋滞地点を確認することもできます。
  「Quick MENUの設定をする」B-21
- ルート案内を停止している場合、 VICSタイムスタンプ は選択できません。
  また、FM多重の番組設定を“ 一般情報番組を受信します ”に設定している場合も選択できません。
  (一般情報スタンプ(“FM一般”)表示時)
  「ルート案内をストップ／スタートする」D-25
  「受信する情報を選ぶ」E-13

渋滞予測ルート探索をする

本機に収録されている過去の渋滞統計データをもとに、設定したルート上の渋滞を予測して回避するルート探索をすることができます。表示された参考ルートの中から出発時刻("現在時刻" "指定日時" "30分後" "1時間後" "予測なし")によって、所要時間やルートの違いを確認することができます。

1 メニュー を押す。



2 ルート ➡ 渋滞予測回避 をタッチする。

：渋滞予測回避画面が表示されます。

3 設定したい項目(現在時刻探索 ／ 日時指定探索)をタッチする。



■ 現在時刻探索 を選択した場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

① 現在時刻 ／ 30分後 ／ 1時間後 ／ 予測なし ／ カレンダー をタッチしてルートを確認する。

現在時刻 ……出発時刻を現在の時刻で設定する。

30分後 ………出発時刻を現時刻の30分後で設定する。

1時間後 ………出発時刻を現時刻の1時間後で設定する。

予測なし ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

カレンダー ‥出発日時をお好みに設定できる。
※設定の方法は下記の「■ 日時指定探索 を選択した場合 」を参考にしてください。



詳細情報 ☞ D-20

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「－－－円」と表示されます。)

■ 日時指定探索 を選択した場合

：日時指定探索画面が表示されます。

① 日付を選択し、タッチする。

：時刻指定画面が表示されます。



ここをタッチするとカレンダー送りができます。(今月を指定しているときは、前月を指定することはできません。 前月 は暗くなります。)

② 数字をタッチして時間を入力し、
探索 をタッチする。

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了すると、ルート確認画面が表示されます。

※時間は24時間制の15分単位で入力します。



数字入力時、選べない数字は暗くなります。

③ 指定日時 ／ 30分後 ／ 1時間後 ／ 予測なし をタッチしてルートを確認する。

指定日時 ……日時指定探索で設定した出発時刻とする。

30分後 ………日時指定探索で設定した出発時刻の30分後を出発時刻とする。

1時間後 ……日時指定探索で設定した出発時刻の1時間後を出発時刻とする。

予測なし ……渋滞統計データを考慮しないルートで設定する。

目的地までのおおよその距離と所要時間と到着予想時刻(有料道路をルート案内した場合は合計料金を表示し、一般道路や一部の有料道路などで料金不明な場合は「−−−円」と表示されます。)



カレンダー をタッチすると、D-22手順①からの操作となります。

詳細情報 D-20

4 案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。



アドバイス

- 到着予想時刻は指定した時刻によって異なります。
- 日時指定探索画面で過去の日時を設定することはできません。
- ルート確認画面で地図をスクロールして出発地から目的地までのルートを確認することができます。
「地図スクロール(地図を動かす)」B-12
- 過去の渋滞状況をもとに渋滞を予測してルート探索するため、実際の渋滞を避けたルートになるとは限りません。
- 出発地と目的地との距離が長い場合、経由地を多く設定している場合は、ルート探索に時間がかかります。

シミュレーション走行をする

設定したルートを画面に表示し、地図上でそのルートを走ってみることができます。(これをシミュレーション走行と呼びます。)ルート情報表示(☞ F-12)、音声案内(☞ A-16)をすることもでき、出発前に、前もってルートを確認するのに便利です。

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルートの全表示 をタッチする。

：ルート全表示画面が表示されます。



3 シミュレーション をタッチする。

：シミュレーション走行が開始されます。



4 シミュレーション走行を終えるには シミュレーション中止 をタッチまたは メニュー を押す。



☝ アドバイス

- シミュレーション走行を終了しても、ルートは設定されています。走行を開始するとルート案内を開始します。
- シミュレーション走行時、交差点の拡大をしない／音声案内が遅れる／自車マークが大きく移動することがありますが、故障ではありません。
- シミュレーション走行中の動作(操作など)は、実際の操作と異なります。(Quick MENUなどは操作できません。また、軌跡の表示はしません。)
- 上記手順 3 で 詳細情報 をタッチすると、ルートの詳細情報を見ることができます。
  ☞「現在のルートを全表示する」D-20
- シミュレーション走行中に ▶ をタッチすると、JCT、交差点拡大表示を一時的に消すことができます。もう一度表示したい場合 ◀ をタッチしてください。

ルート案内をストップ／スタートする

よく知っている道など案内が必要ない場合は音声案内と画面表示を一時的に停止させたり、設定したルートの案内を再び開始させることができます。

※一度もルート探索をしていない場合や、ルートを削除した場合は選択できません。☞「ルート設定の流れ」D-4を参考にルート探索をしてください。

1 メニュー を押す。

2 ルート をタッチする。

：MENU画面が表示されます。



3 ルート案内を停止または開始する。

■ ルート案内を停止する場合

① 案内ストップ をタッチする。

：ルート案内を停止し、地図画面が表示されます。



■ ルート案内を開始する場合

① 案内スタート をタッチする。

：前回ルート探索したルート案内を開始します。



アドバイス

- 現在地表示時に Quick ➡ 案内スタート ／ 案内ストップ をタッチしても案内をストップ／スタートすることができます。（タッチするたびに表示が切り替わります。）
- ルート案内をやめても、探索されたルートは次にルートを探索したり、ルートの変更をしたり、保存ルートを呼び出したりするまでは保存されています。

迂回探索をする

ルート案内走行時に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、別の道を通るようにルートを一部修正することができます。

1 メニュー を押す。

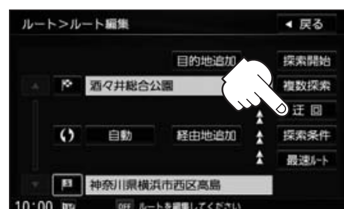
2 ルート ➡ ルート編集 をタッチする。

：ルート編集画面が表示されます。



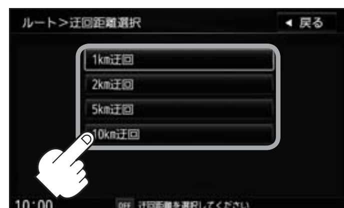
3 迂回 をタッチする。

：迂回距離選択画面が表示されます。



4 迂回距離(1km迂回 ／ 2km迂回 ／ 5km迂回 ／ 10km迂回)を選択する。

：選択した距離の迂回ルートを再探索します。



アドバイス

- 保存ルートを呼び出してルート案内走行していた場合、保存されているルートは変わりません。
- 迂回探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。迂回探索中に移動すると、迂回ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 他の道がない場合や探索した迂回路が極端に遠回りになる場合は、現在のルートをそのまま表示する場合があります。
- 経由地を登録している場合は、経由地を通るルートを探索します。（すでに通過している経由地は除く。）

現在のルートを保存する

設定したルートの地点と探索条件を20件まで保存することができます。保存したルート(登録ルート)は、再び呼び出すことができます。☞「保存したルートの呼び出しをする」D–28

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルート保存 をタッチする。

：“このルートを保存しました。”と表示されます。



3 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。


アドバイス

- ルート設定後、次のルートを探索したり、ルートの変更後再探索をしたり、保存ルートを呼び出したりすると、そのルートは、自動的に削除されます。残しておきたいルートは、保存しておいてください。
- 上記手順 **2** で、すでに設定したルートの地点と探索条件が20件保存されている場合は、“登録可能件数を超えました。不要な登録内容を削除してください。”と表示されます。不要なデータを削除してください。
  ☞「保存したルートの削除をする」D–29

現在のルートを削除する

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ ルート削除 をタッチする。

：現在のルートを削除するかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルートを削除し、MENU画面に戻ります。




アドバイス

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

D-28 保存したルートの呼び出しをする

保存したルートを呼び出して、ルート探索をすることができます。
※現在ルートを表示している場合は、現在のルートが削除され、呼び出したルートが表示されます。

あらかじめルートを保存しておきます。☞「現在のルートを保存する」D-27

1
メニュー を押す。

2
ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。



3
呼び出したいルートをタッチする。

■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択するとルート探索を開始します。



■ ルートがない場合

：ルート探索を開始します。ルート探索が完了するとルート全表示画面が表示され 案内スタート をタッチすると、ルート案内を開始します。

※保存したときの探索条件でルート探索されます。

保存したルートの削除をする

保存したルートを削除することができます。

あらかじめルートを保存しておきます。「現在のルートを保存する」D–27

1 メニュー を押す。

2 ルート ➡ 登録ルート をタッチする。

：登録ルートリスト画面が表示されます。



3 削除したいルートの 🗑 をタッチする。

：登録ルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい を選択すると選択したルートを削除し、登録ルートリスト画面に戻ります。



4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

現在のルートは、次の場合、自動的に削除されます。

- ルート探索をして、あらたにルートを設定したとき
- ルートの変更をしたとき
- ルートの再探索をしたとき

SDカードからルート探索をする

パソコンを使用してSDカードに保存したルート情報を本機で再探索することができます。

☞「パソコン連携(いつもNAVI)」A–18

※SDカードの再生を停止してから操作してください。

1 ▲(OPEN)を押す。

：TILT／EJECT画面が表示されます。

2 OPEN をタッチする。

：ディスプレイ部が開きます。

3 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。

☞「SDカードを入れる／取り出す」B–6をご覧ください。

：自動でディスプレイ部が閉じます。

4 メニュー を押す。

5 ルート ➡ SDルート をタッチする。

：SDカードに保存したルートのファイルリスト画面が表示されます。

※SDカード内に保存したルートファイルが1つの場合は、☞D–31手順 7 へ進んでください。

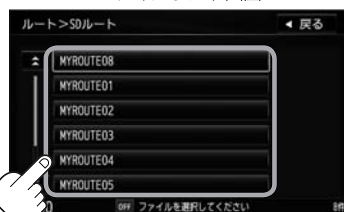
※SDカードに“DRIVE”フォルダがない場合、SDカード内に“DRIVE”フォルダの作成をうながすメッセージが表示されます。メッセージを確認し、 はい ／ いいえ を選択してください。



6 確認したいルートが保存されているファイルをタッチする。

：SDカード内に保存したルートのリストが表示されます。

ファイルリスト画面



7 リストから呼び出したいルートをタッチする。

SDルートリスト画面



■ すでに現在のルートがある場合

：現在のルートを削除していいかどうかのメッセージが表示されるので はい をタッチするとルート編集画面を表示します。

■ ルートがない場合

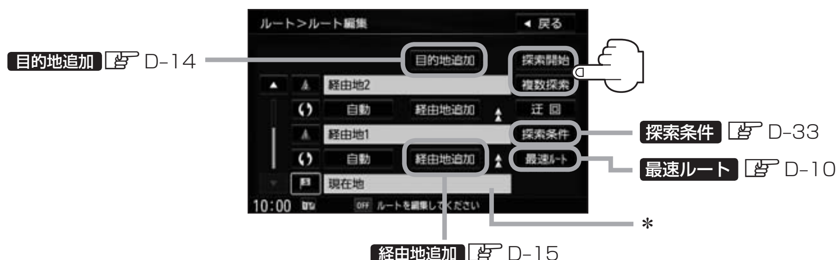
：下記手順 8 へ進んでください。

8 探索開始 ／ 複数探索 を選択し、タッチする。

：ルート探索を開始します。
ルート探索が完了するとルート全表示画面が表示され、 案内スタート をタッチするとルート案内を開始します。

※経由地がある場合は 複数探索 は選択できません。

※ 複数探索 を行った場合は D-9手順 4 、 5 をご覧ください。



アドバイス

- 手順 8 でルート探索をする場合、本機に設定している探索条件を基にルート探索を行なうため、パソコン(指定Webサイト)上でのルート探索結果と異なります。 「ルート探索条件の設定をする」D-33

＊印…上記手順 8 でルート探索する場合、指定のWebサイト(いつもNAVI)で出発地を本機と異なる位置に変更し、ルートをSDカードに保存しても本機でルート探索する場合は、出発地が現在地のままとなります。(指定のWebサイト(いつもNAVI)で指定した出発地にはなりません。)

- 探索したルートは本機に保存することができます。(最大20件) 「現在のルートを保存する」D-27
- 到着予想時刻は平均速度によって異なります。 「平均速度を設定する」F-34
- SDカードを挿入していない場合は、SDカードを挿入してください。
- SDカード内にデータ(リスト)がない場合は手順 5 でSDカードに位置情報ファイルの書き込みをうながすメッセージが表示されるので、位置情報ファイルをSDカードに書き込みしてください。書き込みをする前に半角で“DRIVE”という名前のフォルダを作成後、DRIVEフォルダにダウンロードしてください。
  「SDカードを入れる／取り出す」B-6
  「パソコン連携(いつもNAVI)」A-18

再探索をする

本機はルート案内走行時に設定ルートから外れると自動的に再探索(リルート)するように初期設定されていますが(☞ D–33)、再探索しない設定にしている場合にルート案内走行時に設定ルートから外れてしまった場合、下記の手順(手動)で、現在地から目的地までの参考ルートを再探索することができます。
再探索が完了すると、古いルートが消えて、新しいルートが表示されます。
※この機能を使うにはあらかじめQuick MENUに 再探索 を設定しておく必要があります。
☞「Quick MENUの設定をする」B–21

1 現在地表示画面で、 Quick をタッチする。

：Quick MENUが表示されます。



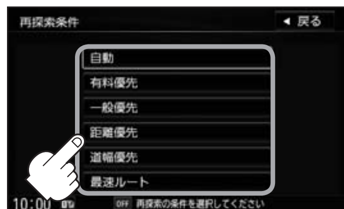
2 再探索 をタッチする。

：再探索条件設定画面が表示されます。



3 探索条件(自動 ／ 有料優先 ／ 一般優先 ／ 距離優先 ／ 道幅優先 ／ 最速ルート)を選び、タッチする。

※探索を中止する場合は、 戻る をタッチしてください。



アドバイス

- 経由地を設定している場合は、経由地を通るルートを探索します。(すでに通過した経由地は除く。)
- 経由地を設定している場合、選択した探索条件は次の経由地までとなります。
- 再探索は、安全な場所に車を止めて行なってください。ルート探索中に移動すると、設定ルートが表示されたときに、すでにそのルートから外れてしまっている可能性があります。
- 高速道路上にいる場合は、一般道路に移動した後で行なってください。高速道路上で再探索をすると、GPS衛星電波の誤差により、再探索の出発地(現在地)が反対車線に設定され、進行方向と逆のルートを表示する場合があります。
- 携帯電話を接続していない場合は、 最速ルート は選択できません。最速ルート探索を行なうには、別途サービスのお申し込みが必要になります。
☞「カーウイングスについて」G–2

ルート探索条件の設定をする

ルートを探索する条件を変更することができます。次に行なうルート探索から、変更後の条件で探索します。

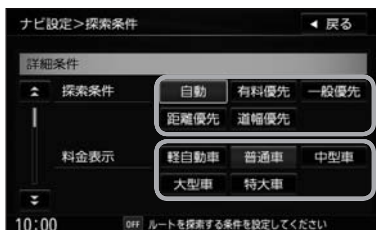
1 メニュー を押す。

2 ナビ設定 ➡ 探索条件 をタッチする。

：探索条件設定画面が表示されます。



3 探索条件を選び、タッチする。



探索する条件を設定します。

車種別に有料道路料金表示を設定します。





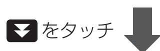
自動再探索する／しないを設定します。

フェリーを優先する／しないを設定します。

季節規制を考慮する／しないを設定します。

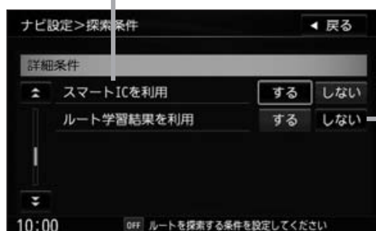
時間規制／曜日規制を考慮する／しないを設定します。

- 祝祭日指定の時間規制のある道路では、一年中規制があるものとしてルート探索します。
- 実際の規制とは異なる場所もありますので、実際の交通規制に従って走行してください。



利用できるスマートIC(SA／PAなどから一般道に出入り可能なETC専用のインターチェンジ)を利用する／しないを設定します。
※別売のETCユニットまたはDSRC車載器を接続すると自動的に する が選択されます。

▲ をタッチ



過去の交通状況データや自車の走行履歴などをもとにしたルート学習結果を利用する／しないを設定します。
※D-33手順 3 で 距離優先 を選択している場合は、ルート学習結果を考慮しない場合があります。



VICS情報をもとにVICS自動再探索する／しないを設定します。
※リアルタイム交通／VICS情報考慮を“しない”に設定するとボタンが暗くなり選択できなくなります。
※FM VICSのみの場合は渋滞による自動探索はできません。

カーウイングスからの現在の交通情報や、VICS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮する／しないを設定します。
※FM VICSのみの場合は渋滞の考慮はできません。



過去の渋滞統計データをもとに統計交通情報を考慮する／しないを設定します。

4 現在地の地図画面に戻るときは、 現在地 を押す。

アドバイス

- 自動 、 有料優先 、 一般優先 、 距離優先 、 道幅優先 は、いずれか1つ設定できます。
- ルート探索条件の変更はルート編集からも変更することができます。☞ D-19
- ルート案内中に探索条件を変更し 戻る をタッチすると、変更した探索条件で再探索を開始します。
- 探索条件で 一般優先 または 距離優先 を選択している場合でも、有料道路を使用したルート探索をするときもあります。 距離優先 を選択している場合でも細い道路を探索するときもあります。
- 道幅優先 を選択している場合でも細い道路を探索するときもあります。
- フェリーを優先“する”設定にしていても、出発地と目的地の間にフェリー航路が存在しない(地図データ上にない)場合は、陸路になります。
- フェリーを優先“する”設定にしていても、フェリー航路を優先しない場合もあります。
- ルートを設定している場合は、設定した探索条件でルートの再探索を行ないます。

アドバイス

料金表示について

- 料金表示は目安としてお使いください。また、ETC割引には対応していません。
- 料金表示の対象道路は、都市間高速(東名高速、中央高速、名神高速など)、都市内高速(阪神高速、名古屋高速、首都高速など)および、一般有料道路がルートに含まれる場合、その通行料金が表示されます。ただし、一部の一般有料道路には対応していません。
- 料金表示は、探索されたルート上の料金所へのIN、OUTの情報から計算されます。
- 首都高速などの単一料金区間では乗り入れたときに精算するため、区間内で再探索を行なっても、料金は表示されません。
- 1つ目の料金所を通過した時点で、自動再探索が働いたり、手動によるルート探索を行なうと、2つ目の区間だけの料金が表示されます。
- 高速道路、有料道路上で手動によるルート探索を行なった場合は、料金表示はされず、「－－－円」と表示される場合があります。(ルートの出発地／目的地が高速(有料)道路上にある時も、料金の表示は「－－－円」となります。)
- "○○IC" を目的地に設定した場合は、目的地を設定した高速道路／有料道路の料金は表示されない場合があります。料金を表示したい場合は、料金所を出た一般道に目的地を設定してください。
- ルート探索(手動・自動)を再度行なわない限り、料金は最初に計算された表示のままです。
- ルート確認画面、ルート全表示画面、ルート詳細情報画面では出発地点から目的地地点までのルートに含まれる有料道路の合計料金を表示します。
- ルート情報画面では有料道路の各区間ごとの料金を表示します。
- 料金非対応路線を含むルートの場合は、「－－－円」または実際の料金と異なる場合があります。

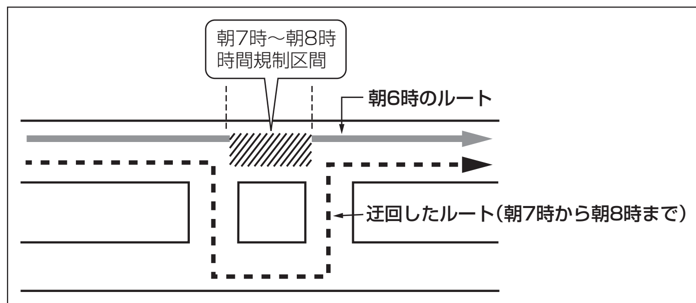
スマートICについて

- スマートICはETCユニットまたはDSRC車載器を搭載した車両のみご利用できます。
- 社会実験として実施されているスマートICは収録されていません。
- 営業時間、営業期間、出入り方向などを考慮したルート探索は行なっていますが、対象車種を考慮したルート探索は行なっていません。(営業時間、営業期間は変更される場合がありますのでご注意ください。)

※ETCを搭載していない車両は通行できません。
※通行可能車両、通行可能時間等が制限されている場合がありますので、ご利用の際はご注意ください。

時間規制道路を考慮について

下記斜線部分が朝7時から朝8時まで時間規制がある場合、規制を考慮したルート探索をします。

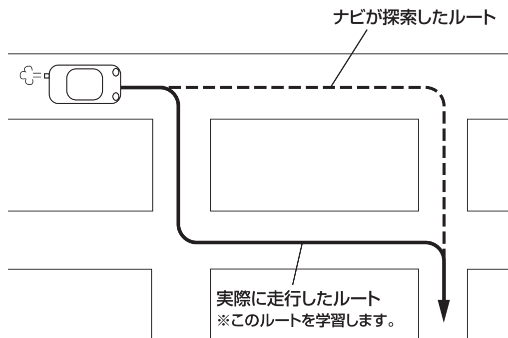


※ルート探索した時間が朝6時のときは迂回しないルート探索をしますが、実際に運転されていて朝7時を過ぎると自動的に再探索され、迂回するルートに変わります。

アドバイス

ルート学習結果について

- ルート案内中に探索したルートを外れて他のルートを何度か走行した場合、そのルートを学習します。
  ※探索したルートが渋滞している場合、ルート学習結果は考慮されません。
  ※ルート学習結果を初期化するには 「データを初期化（消去）する」H-34をご覧ください。



VICS自動再探索・リアルタイム交通／VICS情報を考慮・統計交通情報を考慮について

- リアルタイム交通／VICS情報を考慮“する”に設定していても別売のビーコンキット、DSRC車載器を接続していない場合は規制のみ（通行止めなど）を考慮したルート探索となります。
- ビーコンキットやDSRC車載器を接続していない場合にもカーウイングスでリアルタイム交通情報を受信した場合は渋滞情報を考慮したルート探索を行ないます。
- リアルタイム交通／VICS情報を考慮“する”、VICS自動再探索“する”に設定しても、VICS情報を受信できていない場合は渋滞を考慮するルート探索やVICS自動再探索はされません。
- 統計交通情報を考慮“する”に設定すると本機に収録されている季節・曜日・大型連休・時間などをパターン化した過去のVICS渋滞統計データをもとにルート探索を行なうため、突発的な事故・工事・規制などによる交通状況の急な変化には考慮されない場合があります。
- リアルタイム交通／VICS情報を考慮“する”に設定しても、カーウイングスから最新の交通情報が提供されていない区間では、渋滞が発生していても考慮されない場合があります。
- VICS自動再探索“する”に設定すると、ルート前方に通行止めなどの規制情報が存在した場合に、自動でルートを再探索します。また、別売のビーコンキットやDSRC車載器を接続すると渋滞情報を考慮したルートを自動的に再探索します。
- 探索されたルートは必ずしも渋滞区間を含まないルートになるとは限りません。